



福岡医発第2081号(地)

平成27年10月29日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 松田 峻一良
(公 印 省 略)

ノロウイルスによる食中毒の予防について

今般、標記の件につきまして、別添のとおり厚生労働省医薬品食品局食品安全部監視安全課より福岡県保健医療介護部を通して周知依頼がありました。

例年、ノロウイルスによる食中毒は冬季に多発し、年間食中毒患者数の約5割を占め、発生件数は毎年10月から増えはじめ、11月に急増する傾向があり、発生原因の多くは調理従事者を介したものです。

食中毒患者数及び事案数ともに過去最大となった2006/2007年シーズンのノロウイルスの大流行は、変異株が急速に全国に広まったことによると推察されていますが、2014/2015シーズンのノロウイルスを原因とする食中毒などの健康被害事例では、これまで検出例の少ない遺伝子型(GII.17)のノロウイルスが検出されており、注意が必要です。

つきましては、貴会におかれましても本件について了知いただき、貴会会員に対して周知方ご高配の程よろしくお願いいたします。

なお、本年6月30日に「ノロウイルスに関するQ&A」が改訂されておりますので併せてお知らせいたします。

記

【参考】

「ノロウイルスに関するQ&A」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoushokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

27医指第2348号
平成27年10月20日

公益社団法人福岡県医師会長
一般社団法人福岡県歯科医師会長
公益社団法人福岡県病院協会
社団法人福岡県私設病院協会
一般社団法人福岡県精神科病院協会
全国自治体病院協議会福岡県支部長

殿

福岡県保健医療介護部長
(医療指導課)



ノロウイルスによる食中毒の予防について

本県の保健医療行政につきましては、平素から格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
標記の件について、本県保健衛生課より別添（写）のとおり通知がありましたのでお知らせします。

つきましては、貴会会員に対して周知していただきますようお願いいたします。

【担当】

医療指導係

長田、佐藤（浩）

TEL 092-643-3274

FAX 092-643-3277



食安監発 0930 第 2 号
平成 27 年 9 月 30 日

各 都道府県
保健所設置市
特別区
衛生主管部(局)長 殿

厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課長
(公 印 省 略)

ノロウイルスによる食中毒の予防について

例年、ノロウイルスによる食中毒は、冬期に多発し、年間食中毒患者数の約 5 割を占め、食中毒予防の観点から重要な問題となっています。発生件数は、毎年 10 月から増えはじめ、11 月に急増する傾向があり、発生原因の多くは調理従事者を介したものとなっています。

食中毒患者数及び事案数ともに過去最大となった 2006/2007 年シーズンのノロウイルスの大流行は、変異株が急速に全国に広まったことによると推察されていますが、2014/2015 年シーズンのノロウイルスを原因とする食中毒などの健康被害事例では、これまで検出例の少ない遺伝子型 (GⅡ.17) のノロウイルスが検出されており、注意が必要です。

つきましては、本シーズンにおけるノロウイルスによる食中毒の発生防止のため、予め大量調理施設(弁当屋、仕出し屋、旅館、学校、病院等)等に対し、リーフレット、ノロウイルスに関する Q&A 及び関連通知※に基づき、調理従事者の衛生管理について周知、指導を行うようお願いします。

なお、公益社団法人日本食品衛生協会においては、11 月から 1 月までの間を「ノロウイルス食中毒予防強化期間」として、食品等事業者や消費者に対し、広く啓発活動事業を推進することとしていることから、厚生労働省では後援名義の使用を承認したので、貴管下の食品衛生協会等の関係団体における自主衛生管理の推進及び食中毒の未然防止を図る事業について、御支援・御協力いただけますようお願いします。

※「食品等事業者が実施すべき管理運営基準に関する指針(ガイドライン)」

(平成 16 年 2 月 27 日付け食安発第 0227012 号別添。最終改正;平成 26 年 10 月 14 日食安発 1014 第 1 号)、

「大量調理施設衛生管理マニュアル」(平成 9 年 3 月 24 日付け衛食第 85 号別添。最終改正:平成 25 年 10 月 22 日付け食安発 1022 第 10 号)、

「ノロウイルスに関する Q&A」(平成 16 年 2 月 4 日付け事務連絡。最終改訂;平成 27 年 6 月 30 日)、

「ノロウイルス食中毒対策について」(平成 19 年 10 月 12 日付け食安発第 1012001)

等

参考：ノロウイルス（GⅡ.17）による食中毒事例

【事例1】

発 生 日	平成 27 年 1 月 16 日
発生場所	飲食店
原因食品	不明
ノロウイルス遺伝子型	GⅡ.17
患 者	14 人（喫食者数 144 人）
主 症 状	下痢、発熱、嘔吐等

【事例2】

発 生 日	平成 27 年 1 月 28 日
発生場所	飲食店
原因食品	不明（1 月 27 日、28 日に調理、提供された食事）
ノロウイルス遺伝子型	GⅡ.17
患 者	24 人（喫食者数 29 人）
主 症 状	下痢、吐き気、嘔吐等

【事例3】

発 生 日	平成 27 年 2 月 6 日
発生場所	飲食店
原因食品	不明
ノロウイルス遺伝子型	GⅡ.17
患 者	6 人（喫食者数 61 人）
主 症 状	下痢、発熱、嘔吐等

【事例4】

発 生 日	平成 27 年 2 月 20 日
発生場所	旅館
原因食品	2 月 19～23 日の間に調理された食品
ノロウイルス遺伝子型	GⅡ.17
患 者	174 人（喫食者数 860 人）
主 症 状	下痢、嘔吐、腹痛等

【事例5】

発 生 日	平成 27 年 3 月 8 日
発生場所	飲食店
原因食品	3 月 7～9 日に提供した食事
ノロウイルス遺伝子型	GⅡ.17
患 者	29 人（喫食者数 282 人）
主 症 状	下痢、嘔吐、腹痛、発熱等